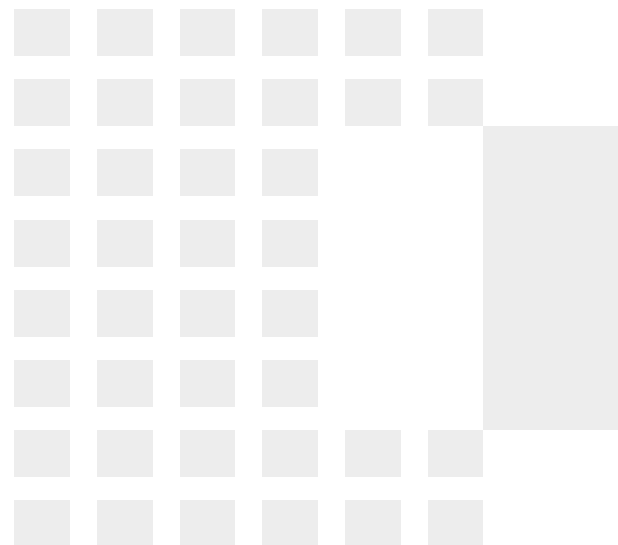


# 2022年3月期 上期 (2021年4月1日～2021年9月30日) 決算説明資料

2021年11月2日  
IDEC株式会社  
証券コード：6652



国内外で設備投資需要が回復し、IDECが注力する工作機械、半導体、ロボットなど各業界でも、業績が大きく回復

## 【業界動向】

### ■ 工作機械

- ✓ 日本工作機械工業会が発表した2021年9月の受注額は、前年同期比+72%と、3年ぶりの高水準

### ■ 半導体製造装置

- ✓ 日本半導体製造装置協会が2021年の需要予測を前年度比+37%に大きく上方修正

### ■ ロボット

- ✓ 2020年後半から受注・生産額が継続的に伸長

工作機械  
Machine Tools



半導体  
Semiconductor



ロボット  
Robotics



半期で過去最高となる、売上高349億円、営業利益49億円 (前年同期比3倍) /  
営業利益率 13.9%、当期純利益35億円 (前年同期比3.2倍) / 当期純利益率 10.1%

## 売上

■ 売上高 349億円 (前年同期比 1.4倍)

## 利益

■ 営業利益 49億円 (前年同期比 3.0倍)

■ 経常利益 50億円 (前年同期比 3.3倍)

■ 当期純利益 <sup>※</sup> 35億円 (前年同期比 3.2倍)

※親会社株主に帰属する当期純利益

## 配当

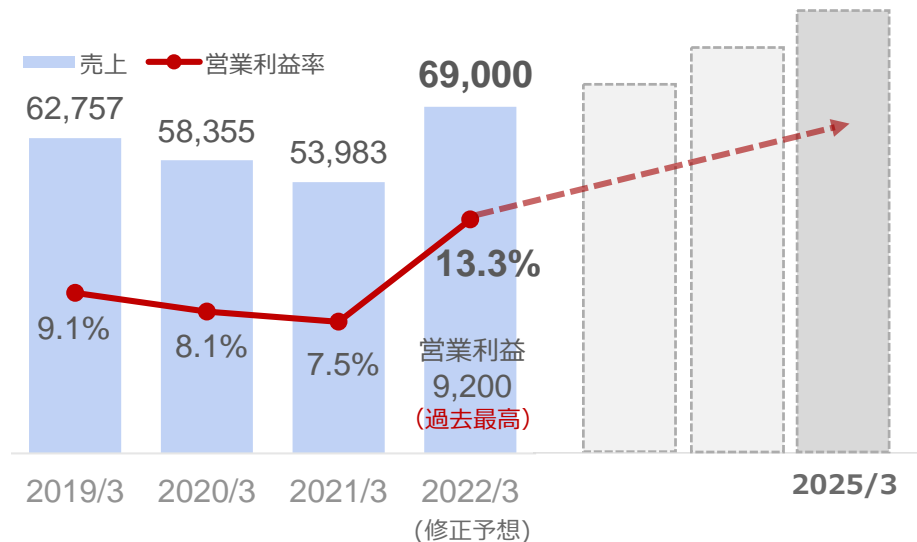
■ 中間配当 40円 (25円の期初計画を上方修正)

## 取り組み方針

事業活動を通じた社会課題の解決、高収益体質に向けた変革を  
”Lean & Smart” で実現し、企業価値の向上を図る。

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て

- 足元の状況を踏まえ、**通期業績予想を上方修正**
- 過去最高の売上高、利益の見込み
- 収益性の向上を重視した新中期経営計画を策定し、今期中に発表予定



# 2022年 3 月期 上期の業績

# 連結業績概要 <連結損益計算書> - 1

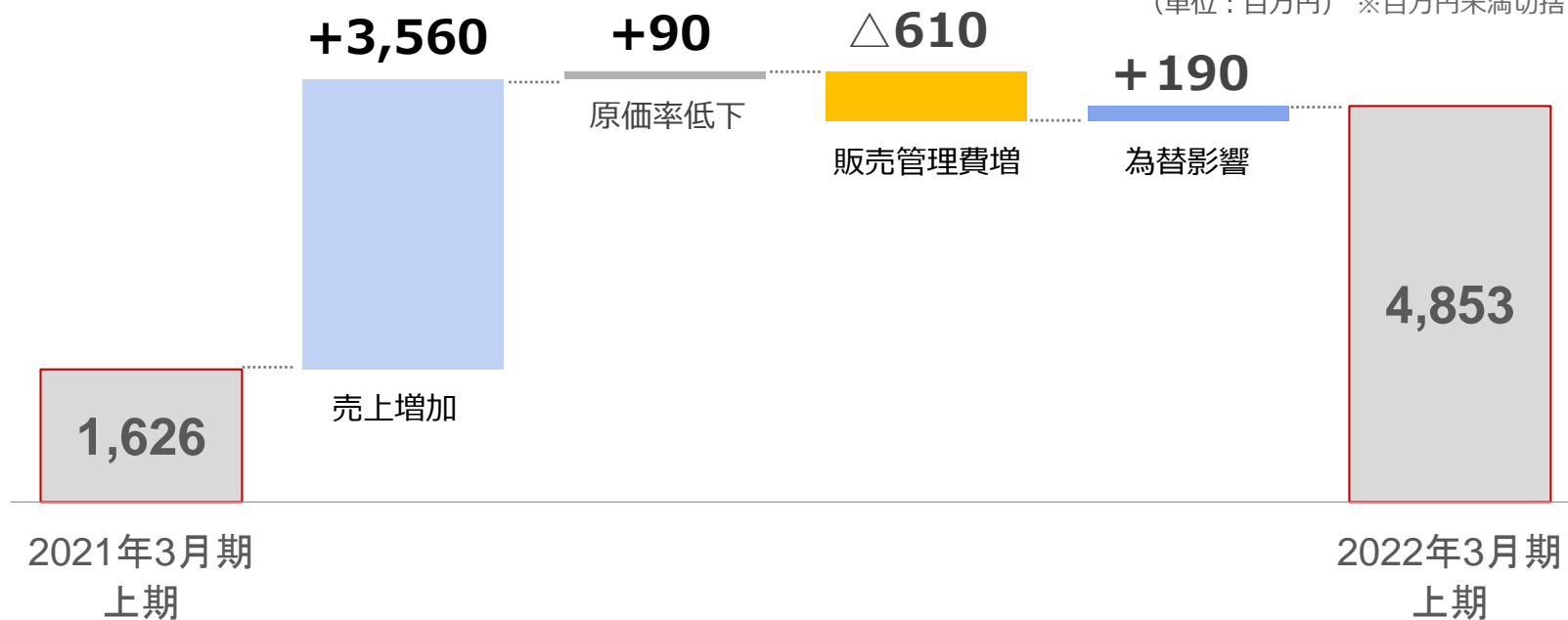


(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2021年3月期 上期		2022年3月期 上期		
	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	25,387	100.0%	34,856	100.0%	+ 37.3%
売上総利益	10,779	42.5%	14,919	42.8%	+ 38.4%
販売費及び一般管理費	9,153	36.1%	10,066	28.9%	+ 10.0%
営業利益	1,626	6.4%	4,853	13.9%	+198.5%
経常利益	1,519	6.0%	5,022	14.4%	+230.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,090	4.3%	3,526	10.1%	+223.5%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	35.89円	-	117.58円	-	+ 81.69円
USDレート (円)	106.93円		109.81円		+ 2.88円
EURレート (円)	119.34円		129.88円		+10.54円

# 連結営業損益変動要因

売上高の増加や為替の影響などにより、営業利益は前年同期比で約32.3億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



# 連結業績概要 <連結損益計算書> - 2

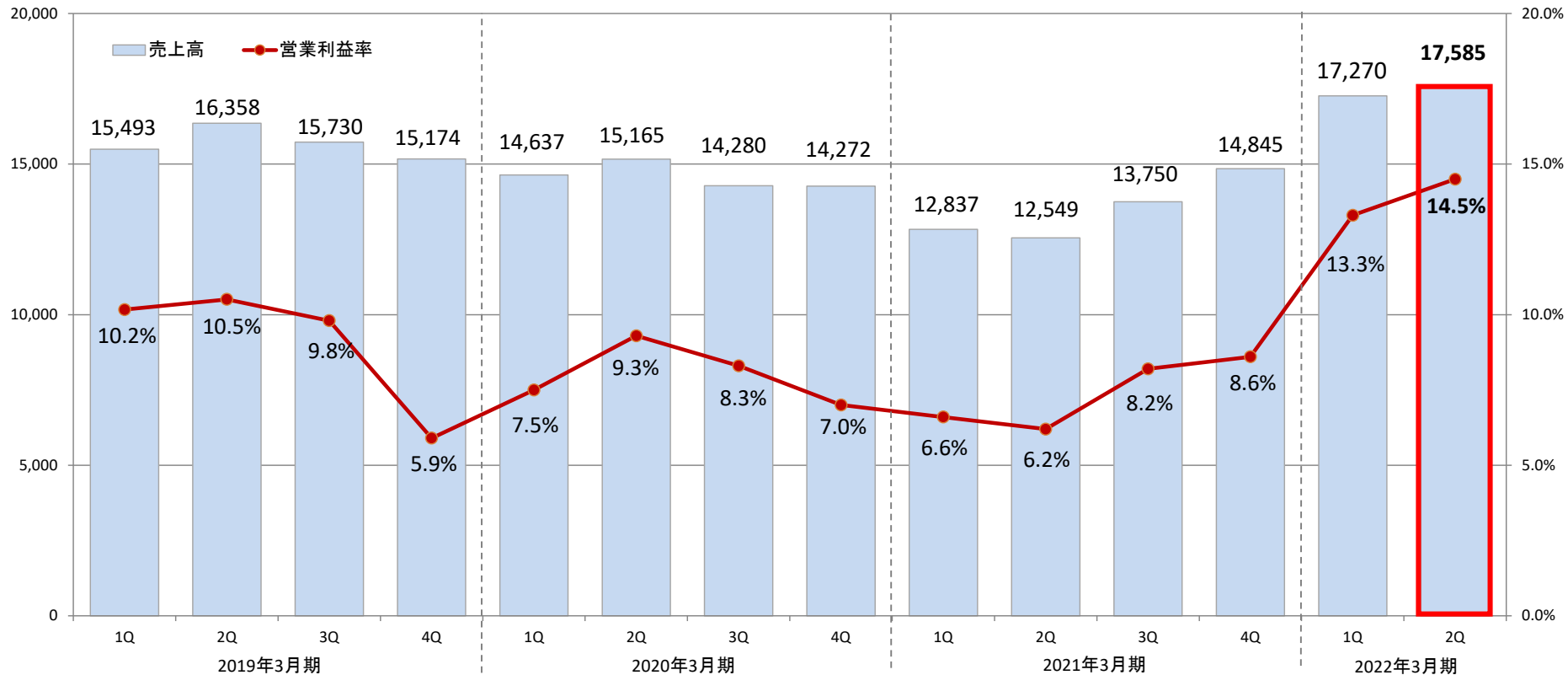


(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2021年3月期						2022年3月期					
	2Q (7月~9月)		3Q (10月~12月)		4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)		2Q (7月~9月)			
	実績	対 売上比	実績	対 売上比	実績	対 売上比	実績	対 売上比	実績	対 売上比	前年 同期比	
売上高	12,549	100.0%	13,750	100.0%	14,845	100.0%	17,270	100.0%	17,585	100.0%	+40.1%	
売上総利益	5,372	42.8%	5,741	41.8%	6,263	42.2%	7,300	42.3%	7,619	43.3%	+41.8%	
販売費及び 一般管理費	4,592	36.6%	4,607	33.5%	4,981	33.6%	4,999	28.9%	5,066	28.8%	+10.3%	
営業利益	780	6.2%	1,133	8.2%	1,281	8.6%	2,300	13.3%	2,552	14.5%	+227.2%	
経常利益	712	5.7%	1,130	8.2%	1,454	9.8%	2,436	14.1%	2,586	14.7%	+263.2%	
親会社株主に帰属す る四半期純利益	519	4.1%	499	3.6%	1,213	8.2%	1,799	10.4%	1,727	9.8%	+232.8%	
1株当たり 四半期純利益 (潜在株式調整前)	17.28円		16.65円		40.47円		60.01円		57.58円			



# 売上高・営業利益率 (四半期推移)

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



# 仕向地別売上状況

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年 同期比
日本	11,499 (45.3%)	<b>14,649</b> <b>(42.0%)</b>	+27.4%
海外	13,887 (54.7%)	<b>20,206</b> <b>(58.0%)</b>	+45.5%
米州	3,897 (15.4%)	<b>5,725</b> <b>(16.4%)</b>	+46.9%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	4,103 (16.2%)	<b>5,972</b> <b>(17.1%)</b>	+45.5%
アジア・ パシフィック	5,887 (23.2%)	<b>8,509</b> <b>(24.4%)</b>	+44.5%
合計	25,387 (100.0%)	<b>34,856</b> <b>(100.0%)</b>	+37.3%

日本 前年同期比 **+27.4%**

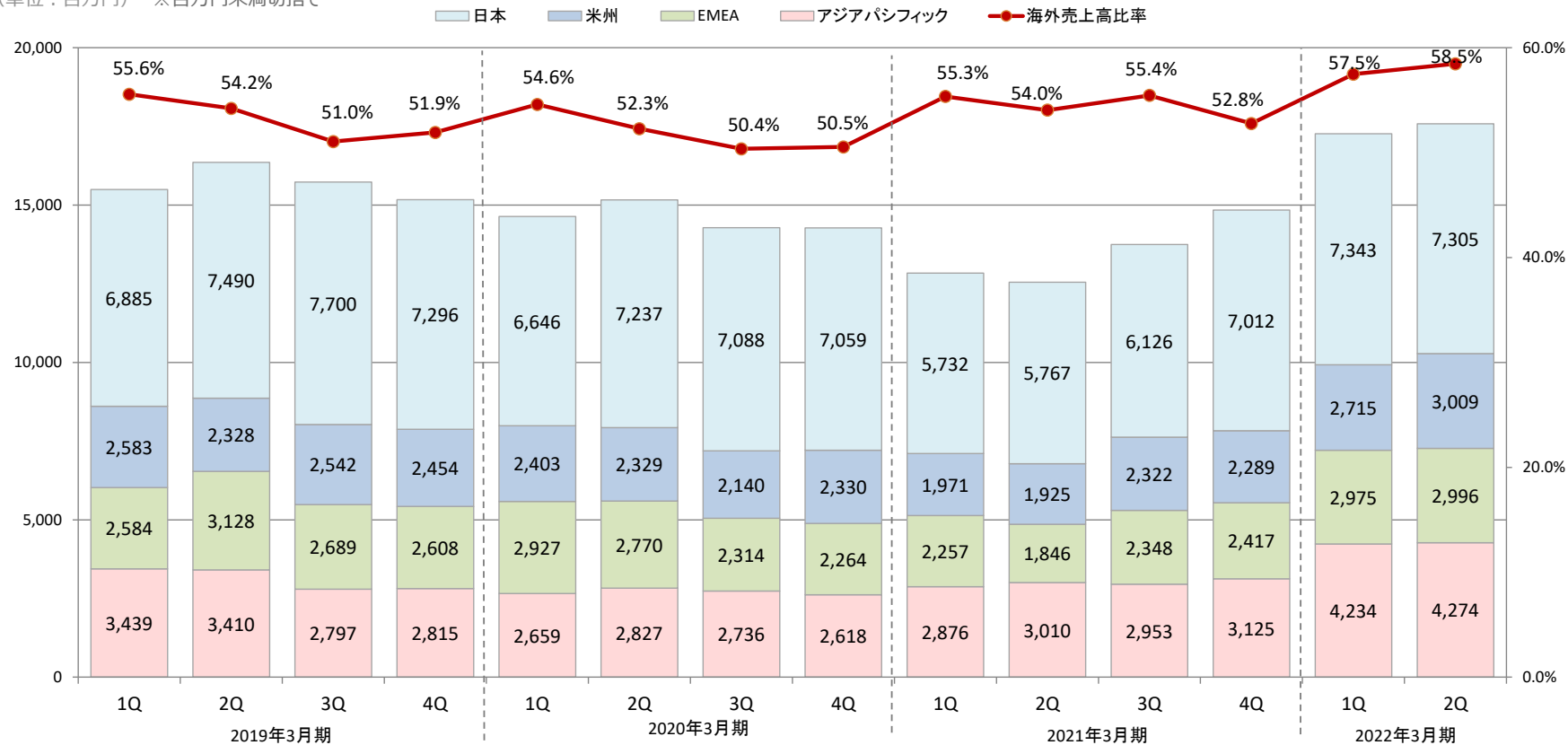
- 半導体関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等の需要が大幅に回復、急拡大したことから、主力のスイッチ事業を中心に受注が予想を超える水準で増加し、売上も伸長

海外 前年同期比 **+45.5%**

- 中国を中心とするアジア・パシフィック、米州、欧州において需要の回復が進んでいることから、各製品群において売上が増加

# 仕向地別売上状況 (四半期推移)

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年 同期比
スイッチ事業	11,834 (46.6%)	<b>16,340</b> <b>(46.9%)</b>	+38.1%
インダストリアル コンポーネンツ事業	4,783 (18.8%)	<b>6,724</b> <b>(19.3%)</b>	+40.6%
オートメーション事業/ センシング事業	3,604 (14.2%)	<b>5,074</b> <b>(14.6%)</b>	+40.8%
安全・防爆	3,086 (12.2%)	<b>4,316</b> <b>(12.4%)</b>	+39.9%
システム	1,630 (6.4%)	<b>1,755</b> <b>(5.0%)</b>	+ 7.7%
その他	448 (1.8%)	<b>644</b> <b>(1.8%)</b>	+43.9%
合 計	25,387 (100.0%)	<b>34,856</b> <b>(100.0%)</b>	+37.3%

※2022年3月期より、製品種類別の区分を一部変更しております。  
過去の数値についても組み替えた数値で比較しております。

## スイッチ事業

設備投資需要の急拡大により、全地域において売上が伸長

## インダストリアルコンポーネンツ事業

主力の米州、中国において制御用リレーの売上が好調に推移

## オートメーション事業／センシング事業

日本、米州、EMEAで、プログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの需要が急速に回復

## 安全・防爆事業

設備投資需要が順調に回復し、国内外で売上が増加

## システム

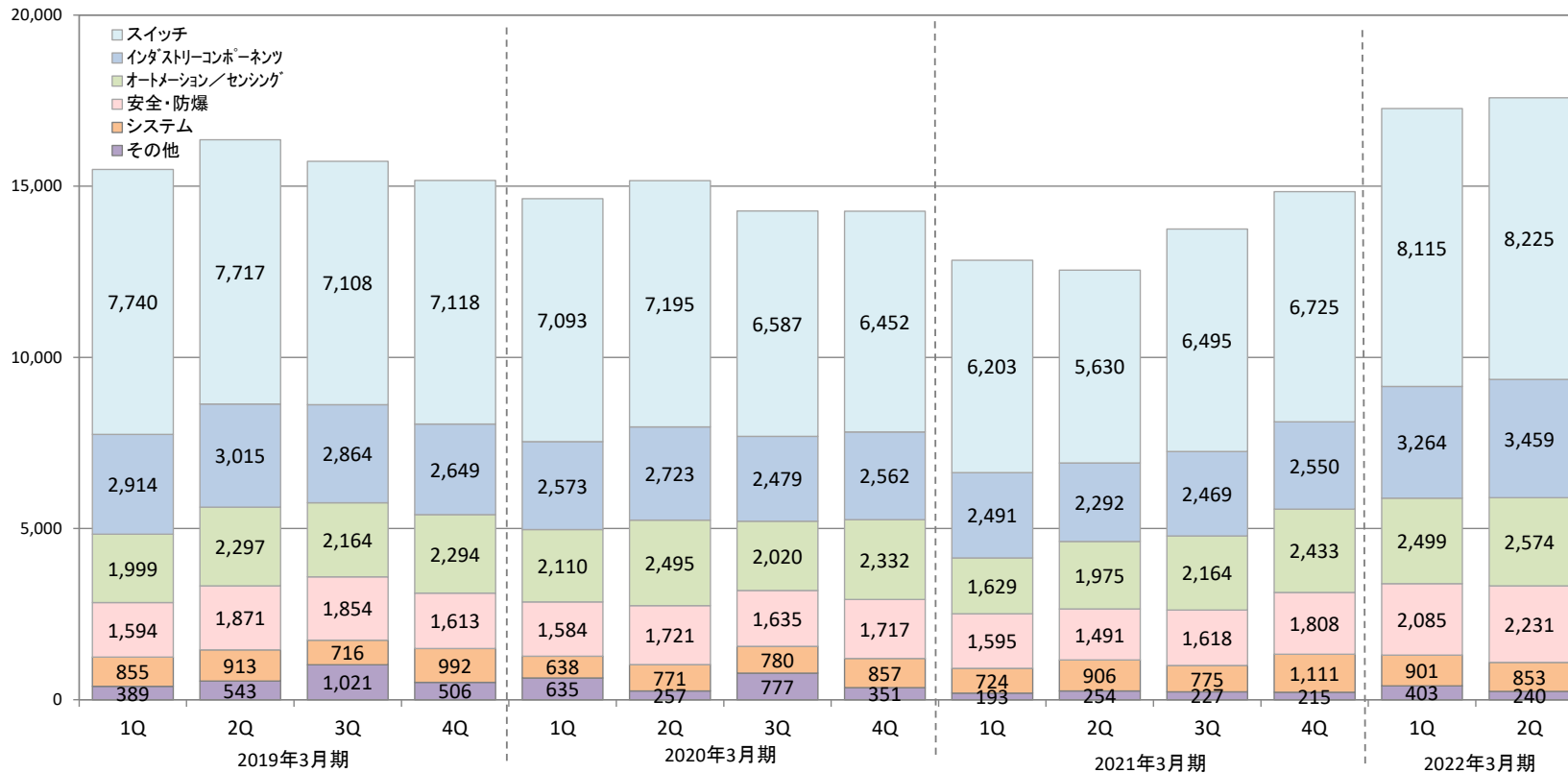
日本でデジタル機器・半導体業界などの制御盤の売上が増加

## その他

日本において、環境・エネルギー関連事業の売上が回復

# 製品別売上状況 (四半期推移)

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



	2021年3月期 上期		2022年3月期 上期			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
単位：百万円 ※百万円未満切捨て						
日本	12,987	4,079	<b>22,970</b>	+ 76.9%	<b>12,448</b>	+205.2%
米州	4,316	1,689	<b>7,405</b>	+ 71.6%	<b>3,520</b>	+108.3%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	4,306	3,246	<b>8,505</b>	+ 97.5%	<b>5,923</b>	+ 82.5%
アジア・ パシフィック	4,107	1,637	<b>8,465</b>	+106.1%	<b>4,801</b>	+193.2%
合計	25,718	10,653	<b>47,347</b>	+ 84.1%	<b>26,694</b>	+150.6%

# 受注状況 (四半期推移)

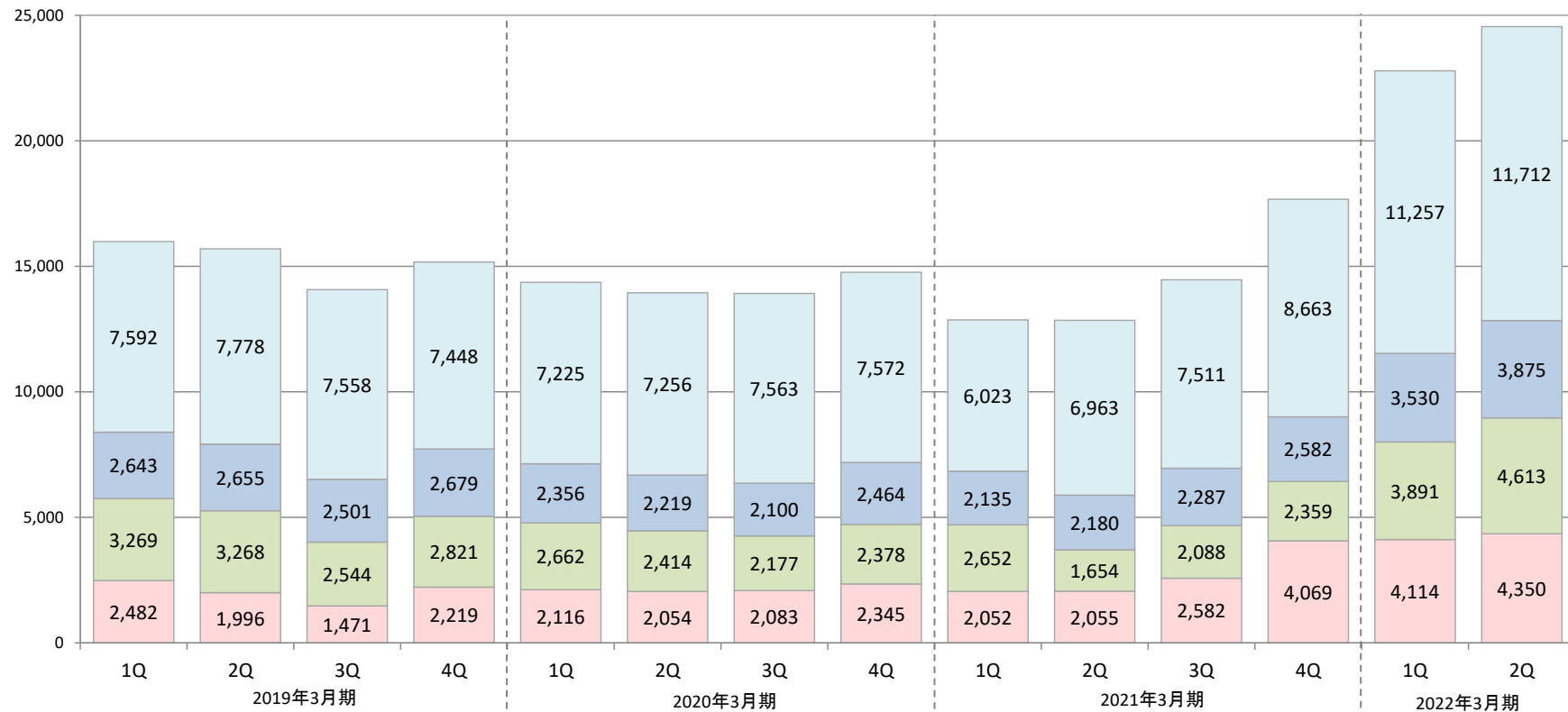


単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2021年3月期						2022年3月期			
	2Q (7月～9月)		3Q (10月～12月)		4Q (1月～3月)		1Q (4月～6月)		2Q (7月～9月)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本	6,963	4,079	7,511	4,732	8,663	5,789	11,257	8,941	11,712	12,448
米州	2,180	1,689	2,287	1,615	2,582	1,895	3,530	2,537	3,875	3,520
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	1,654	3,246	2,088	3,106	2,359	3,150	3,891	4,309	4,613	5,923
アジア・ パシフィック	2,055	1,637	2,582	1,918	4,069	3,368	4,114	3,939	4,350	4,801
合計	12,854	10,653	14,470	11,372	17,675	14,203	22,795	19,728	24,551	26,694

# 受注状況 (四半期推移)

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て

■ 日本 ■ 米州 ■ EMEA ■ アジア・パシフィック





# 連結業績概要 <連結貸借対照表>



## 資産のポイント

- 現金及び預金、売上債権、棚卸資産が増加したことなどにより、総資産は前期末比42.1億円増加

## 負債のポイント

- 借入金が減少した一方、仕入債務が増加したことなどにより、総負債は前期末比ほぼ横ばい

## 純資産のポイント

- 利益剰余金や為替勘定調整勘定の増加などにより、純資産は前期末比42.0億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2021年3月期 (前会計年度)	2022年3月期 (9月末)	前会計年度末比 増減
流動資産	39,815	43,604	+3,789
固定資産	48,436	48,856	+ 420
流動負債	18,959	20,032	+1,073
固定負債	26,180	25,121	△1,058
純資産	43,111	47,306	+4,195
総資産	88,252	92,461	+4,209
自己資本比率	48.7%	50.8%	+2.1%

# 連結業績概要 <連結CF計算書>

## 営業活動によるCF

- 売上債権の増加や、税引前純利益、減価償却費の計上などにより、前年同期比で約23.7億円増の52.5億円

## 投資活動によるCF

- 固定資産の取得や事業譲受などにより、前年同期比で約2.9億円支出増の△16.7億円

## 財務活動によるCF

- 借入金の返済や配当金などの支出により△26億円

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て

	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,874	5,245	+2,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,383	△1,673	△ 289
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	1,491	3,572	+2,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907	△2,601	△1,694
現金及び現金同等物の期末残高	14,557	16,135	+1,577
設備投資額	1,588	1,135	△ 452
減価償却費	1,477	1,617	+ 140

# 2022年3月期 通期の業績予想

受注高・受注残は高水準を維持していることから、期初予想を上方修正

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2021年3月期		2022年3月期		2022年3月期		
	実績	対売上比	期初予想	対売上比	修正予想	対売上比	前期比
売上高	53,983	100.0%	60,000	100.0%	69,000	100.0%	+ 27.8%
売上総利益	22,783	42.2%	25,900	43.2%	29,500	42.8%	+ 29.5%
販売費及び一般管理費	18,742	34.7%	19,700	32.8%	20,300	29.4%	+ 8.3%
営業利益	4,041	7.5%	6,200	10.3%	9,200	13.3%	+127.6%
経常利益	4,104	7.6%	6,200	10.3%	9,200	13.3%	+124.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,803	5.2%	4,000	6.7%	6,900	10.0%	+146.1%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	92.83円	-	133.36円	-	230.04円	-	+137.21円
USDレート (円)	106.10円		106.00円		108.00円		+1.90円
EURレート (円)	121.88円		125.00円		128.00円		+6.12円

# 2022年3月期 連結業績予想



	2022年3月期						
	上期実績	対売上比	下期 修正予想	対売上比	通期 修正予想	対売上比	前期比
(単位：百万円) ※百万円未満切捨て							
売上高	34,856	100.0%	34,144	100.0%	69,000	100.0%	+ 27.8%
売上総利益	14,919	42.8%	14,581	42.7%	29,500	42.8%	+ 29.5%
販売費及び一般管理費	10,066	28.9%	10,234	30.0%	20,300	29.4%	+ 8.3%
営業利益	4,853	13.9%	4,347	12.7%	9,200	13.3%	+127.6%
経常利益	5,022	14.4%	4,178	12.2%	9,200	13.3%	+124.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,526	10.1%	3,374	9.9%	6,900	10.0%	+146.1%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	117.58円	-	112.49円	-	230.04円	-	+137.21円
USDレート (円)	109.81円		108.00円		108.00円		+1.90円
EURレート (円)	129.88円		128.00円		128.00円		+6.12円

# 2022年3月期 連結業績予想



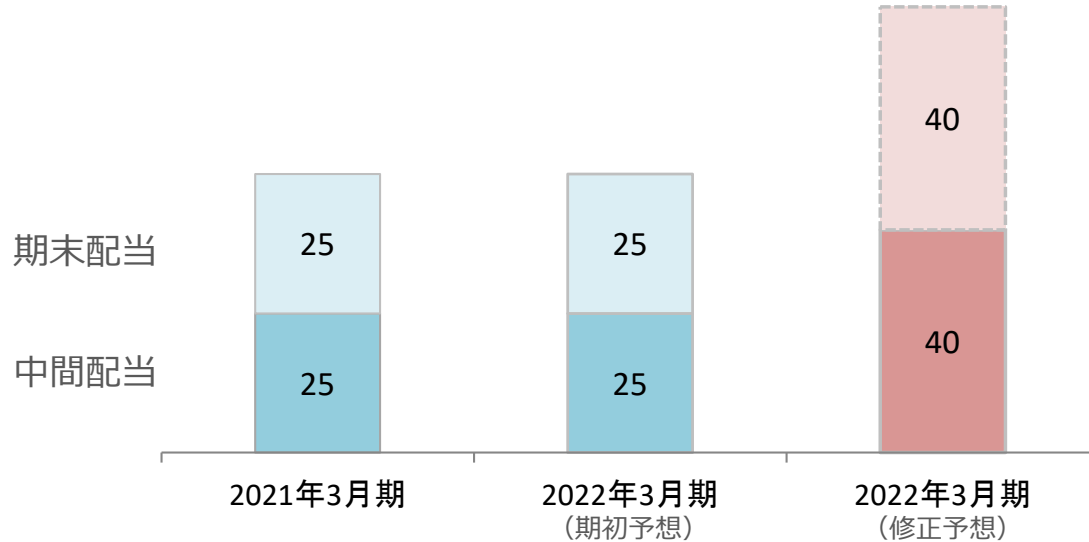
(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2021年3月期 実績	2022年3月期 期初予想	2022年3月期	
			修正予想	前期比
スイッチ事業	25,054	28,300	32,400	+29.3%
インダストリアルコンポーネンツ事業	9,803	10,400	13,900	+41.8%
オートメーション事業／センシング事業	8,203	9,100	9,200	+12.2%
安全・防爆	6,513	7,300	8,500	+30.5%
システム	3,516	4,000	4,000	+16.6%
その他	891	900	1,000	+13.8%
合 計	53,983	60,000	69,000	+27.8%
国内売上高	24,638	27,400	29,300	+18.9%
海外売上高	29,344	32,600	39,700	+35.3%
(海外比率)	54.4%	54.3%	57.5%	

# 2022年3月期 連結業績予想



	2022年3月期			
	上期	下期 修正予想	通期 修正予想	前期比
(単位：百万円) ※百万円未満切捨て				
スイッチ事業	16,340	15,960	32,400	+29.3%
インダストリアルコンポーネンツ事業	6,724	7,176	13,900	+41.8%
オートメーション事業／センシング事業	5,074	4,126	9,200	+12.2%
安全・防爆	4,316	4,184	8,500	+30.5%
システム	1,755	2,245	4,000	+16.6%
その他	644	356	1,000	+13.8%
合 計	34,856	34,144	69,000	+27.8%
国内売上高	14,649	14,651	29,300	+18.9%
海外売上高	20,206	19,494	39,700	+35.3%
(海外比率)	58.0%	57.1%	57.5%	

- 上期までの業績を踏まえて、中間配当を25円から40円に**15円増配**
- 下期予想も同様に15円増配し、年間配当予想は**80円**
- 年間の**予想配当性向は34.8%**





# 2022年3月期の取り組み

## 取り組み方針

事業活動を通じた社会課題の解決、高収益体質に向けた変革を  
”Lean & Smart” で実現し、企業価値の向上を図る。

### 成長戦略の推進

- 地域・業界軸でのニーズに基づく製品開発、立上加速
- 中国における事業拡大、地産地消の推進
- 国内販売チャネル再編、技術課題解決型販売強化
- M&Aや提携を含めた戦略的パートナーシップ構築

### 収益性の向上

- グループ全体最適に向けた製品統廃合推進
- 生産体制・プロセス見直しによる在庫削減・納期短縮
- 戦略的なコストダウンテーマ推進
- 不採算製品・事業の選択集中

### 経営基盤の強化

- 働き方改革の推進
- PMI推進による基盤強化
- 高収益体質に向けた構造改革の推進

### ESGの取り組み強化

- 【E】環境負荷低減に向けた取り組み推進
- 【S】ダイバーシティの推進
- 【G】経営の透明性・効率性の向上

- 今期グループ化したスキューズ社をはじめ、IDECグループが一体となって**技術営業体制を構築**
- 最も強みを持つ、**HMIや安全をコアとしたシステムソリューション**を提供し、**カスタマーサクセスを実現**
- さまざまな業界の**リーディングカンパニーとのコラボレーション**により新製品開発、販売網拡大を推進

## 【日本】

- ✓ 国内営業所の集約による効率化、**固定費削減**
- ✓ HMIや安全をコアとした**システムソリューションの戦略的な展開**

## 【グローバル】

- ✓ デジタル媒体の活用による新規顧客開拓、売上拡大の推進
- ✓ **現地ニーズを踏まえた迅速な製品企画・開発**
- ✓ **サプライチェーン改革・コストダウンの推進**
- ✓ IDECとAPEM社の販売シナジーの実現

## 【戦略的パートナーシップ】

- ✓ IDEC ALPS Technologies設立による製品開発力の強化

- 収益性向上に向けた**製品価格の適正化**
  - 新技術を活用した**新製品比率の向上**、および付加価値の向上
- 
- ✓ 部材価格上昇を踏まえた価格改定、および取引やプロダクトミックス見直しによる**粗利改善**
  - ✓ 拠点再編や構造改革による**固定費の低減**
  - ✓ 製品統廃合の推進
  - ✓ グローバル生産拠点・サプライチェーン再編
  - ✓ 新たな設備の導入による効率化、生産キャパシティの拡充

- 全社のデジタル化加速による、業務の効率化と経営のスリム化

## 【デジタルマーケティング】

- ✓ グローバルでのDMTプロジェクト推進、新規顧客開拓・営業プロセスの効率化
- ✓ スタジオを活用した国内外向けウェビナーやIR説明会などの配信、デジタルコンテンツの拡充

## 【DX・業務改革】

- ✓ 営業支援、人事システムの刷新などによる効率化・全社最適化の推進
- ✓ 業務改革、基幹システムの見直し推進
- ✓ LMS（Learning Management System）構築、代理店サポート・教育への活用

## 【働き方改革】

- ✓ リモートワークの推進、柔軟な働き方を前提とした制度の見直し
- ✓ Office365を活用したコミュニケーション基盤の構築

# 新製品および システム採用事例

## アンプ内蔵小形光電スイッチ「SA2E形」

- 従来製品の2分の1となる**応答時間0.5ms**の実現により、連続した小型ワークの高速搬送での検知が可能
- さまざまな用途に応じて選ぶことができるよう、検出方式、検出距離、検出物体が異なる計4機種をラインアップ
- 使用周囲温度を従来製品の-25℃から向上し、**-30から+55℃**まで対応  
冷凍倉庫向け機器にも搭載可能

<https://jp.idec.com/media/PR20210826.pdf>



## ガス・蒸気防爆・粉じん防爆に対応し、+55°Cで使用可能な 防爆LED照明「HPLN形」

- 中～高天井用の既存施設の水銀灯やメタハラ灯をLED化することができ、環境負荷やメンテナンスコストを低減
- ゾーン1、ゾーン2、ゾーン21、ゾーン22の、ガス・蒸気防爆と粉じん防爆に対応

防爆構造	使用可能な危険場所
Ex db eb mb op is IIC T4 Gb	ガス・蒸気：ゾーン1、2
Ex tb op is IIIC T95°C Db	粉じん：ゾーン21、22

- -30から+55°Cの環境で使用可能な高い環境性能を実現
- AC/DCフリーを実現し、UPS（無停電電源装置）による直流電源入力の非常時点灯にも対応

<https://jp.idec.com/media/PR20211006.pdf>





## 防爆エリアの設備や機器の予知保全を実現する 本質安全防爆構造の無線振動センサ「ES3M形」

- 石油プラントや化学工場における危険場所（ゾーン2）の設備や機器に設置することで、振動データを無線で簡単に収集することができ、**故障の予兆を見つけて未然に防ぐ「予知保全」**を実現
- 小形かつ低消費電力の電池駆動の製品で、各種装置に**マグネットで簡単に取り付け**でき、**電源やネットワーク工事なしですぐに使用可能**
- 非危険場所にアクセサリとしてラインアップしているセンサゲートウェイを設置することで、**離れた場所から状態監視**でき、危険場所のデータを安全に収集

<https://jp.idec.com/media/PR20211014.pdf>



## 多様な現場の安全・安心・ウェルビーイングの実現に貢献

- 人間工学に基づいてIDECが開発した3ポジションイネーブルスイッチに加え、プログラマブルコントローラやセンサなどを用いたIDECのシステム導入により、**作業者が天井や躯体と高所作業車の間に挟まれることで発生する、重篤な労働災害を防止**
- その他の建設機械レンタル企業向けにアレンジした安全システムの販売も予定しており、**2024年3月期までに5,000台の導入を目指す**



3ポジションイネーブルスイッチと搭載機器例

高所作業車（左）に搭載されたIDECの挟まれ防止用システム（右）

# ESGについて

- ESGの評価が高い企業に幅広く投資する年金基金・機関投資家向けのSRI（社会的責任投資）ファンドで、SOMPOアセットマネジメント株式会社が運用する「**SOMPOサステナビリティ・インデックス**」の**構成銘柄**に初めて選定

2021



Sompo Sustainability Index

- ESG・CSRに特化した企業評価プラットフォーム「SUSTAINA」（運営：サステナ株式会社）が、サステナビリティ活動に積極的に取り組む企業を表彰する「**SUSTAINA ESG AWARDS 2021**」の**総合部門においてブロンズクラス**を受賞



## ● ESG取り組み、プライム市場を前提としたガバナンス強化

### 【環境】

- ✓ 常務執行役員（環境担当）、環境推進室の設置
- ✓ 2021年5月TCFDの賛同表明、開示対応の推進
- ✓ 2026年3月期までにCO2排出量を30%削減（2020年3月期比）

### 【社会】

- ✓ 従業員満足度調査の結果などを基にした新人事制度
- ✓ ダイバーシティや女性活躍の推進

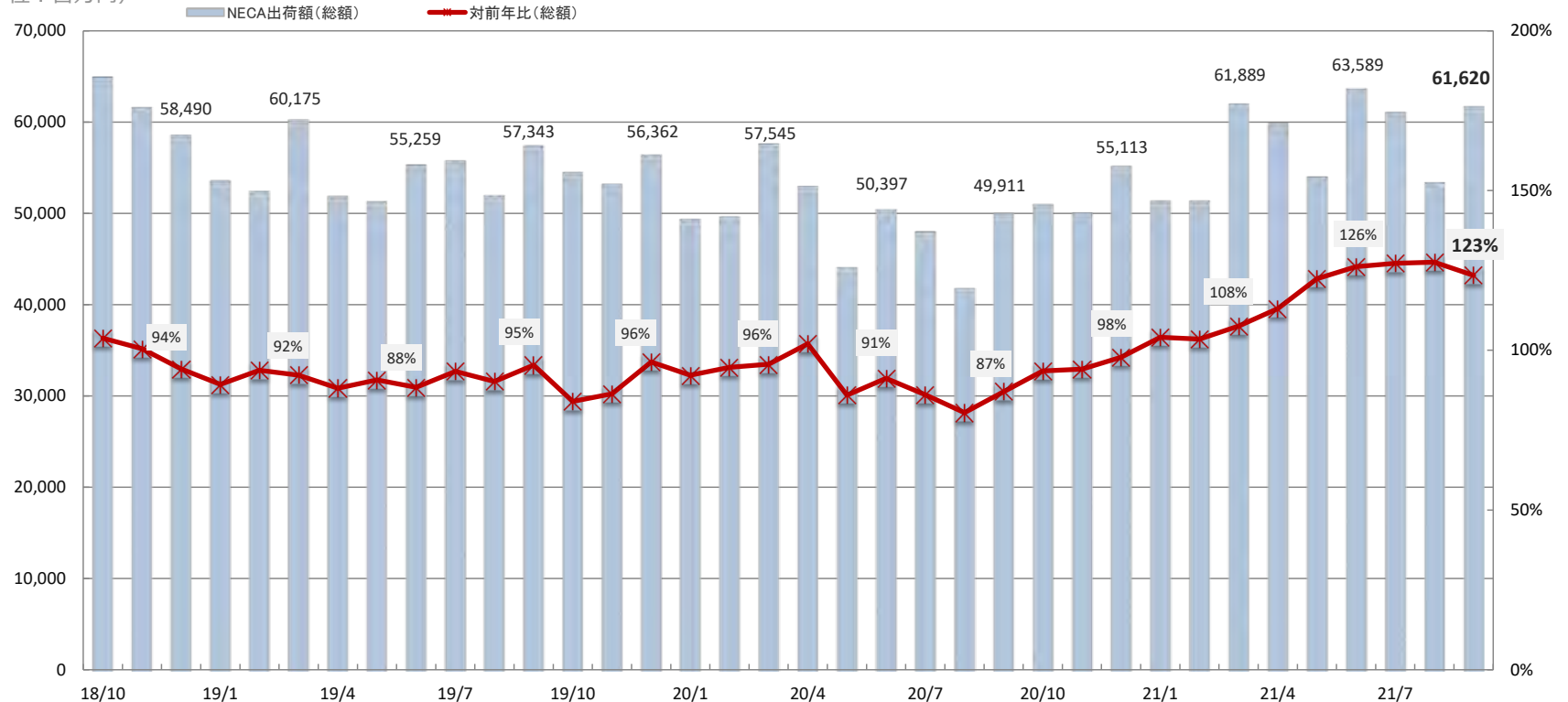
### 【ガバナンス】

- ✓ プライム市場に対応したガバナンスの強化
- ✓ BCP対応方針策定、危機管理体制の整備
- ✓ 指名委員会の設置・運用・整備

# 參考資料

## 18年10月～21年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況

(単位：百万円)



スイッチ	インダストリアル コンポーネツ	オートメーション/ センシング	安全・防爆	システム	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御用操作スイッチ</li> <li>・ジョイスティック</li> <li>・表示灯</li> </ul>  <p style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 2px;">APEM製品</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチング電源</li> <li>・端子台</li> <li>・制御用リレー/ソケット</li> <li>・サーキットプロテクタ</li> <li>・産業用LED照明</li> </ul>   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラマブルコントローラ</li> <li>・プログラマブル表示器</li> <li>・光電スイッチ</li> <li>・自動認識機器</li> </ul>    	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全関連機器</li> <li>・防爆関連機器</li> </ul>    	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働ロボットシステム</li> <li>・表示器複合システム</li> <li>・セキュリティシステム</li> <li>・その他各種システム</li> </ul>   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・エネルギー関連事業</li> <li>・次世代農業ソリューション</li> </ul>  



この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。  
従いまして、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社

経営戦略企画部

TEL : 06-6398-2505

FAX : 06-6398-2587

E-mail : yasuyuki.ogawa@idec.com

